

UBE読書のまちづくり ネットワーク会議通信

Vol.5
2019.9

第5回 ネットワーク会議を開催しました！

令和元年8月24日（土）10：00～宇部市立図書館
で開催し、33名の方々にご参加いただきました。

最初に、11月に開催予定の「UBE読書のまちづくり
フォーラム」の概要説明、次に8月8日（木）に
開催された「ふるさと元気懇談会」において、
「読書のまちづくり」をテーマに、市長と市民の
皆様との意見交換が行われた内容について報告し
ました。

その後、これまでのネットワーク会議で出され
た意見のまとめ、他の図書館の現状などについて
説明を行いました。

引き続きワークショップを行い、全市的に読書
のまちづくりを進めるための具体的な方策につい
て話し合いました。



「本を読まなかった人が本を読もうと思うようになる
きっかけづくり、環境づくりとは？」



今回が、最後のグループワークとな
り、各グループで、これまで出された
意見を更に掘り下げた、様々な意見
が出されました。

第6回（最終回）ネットワーク会議開催のお知らせ

「UBE読書のまちづくりビジョン（素案）」

日時 9月28日（土）10：00～12：00

場所 宇部市立図書館 2階 講座室

【お問合せ先】

宇部市立図書館

TEL 0836-21-1966

FAX 0836-21-3801

各グループ発表内容

テーマ『本を読まなかった人が本を読もうと思うようになる きっかけづくり、環境づくりとは?』

グループ①

本を生活の一部とするため、まちかどブックコーナーの様に手に取りやすい環境の整備、ライフスタイル陳列(スーパー・ドラッグストアにレシピ本などを置く)を行う。利用者同士が情報交換できる場所を作る。カフェで読書など、おしゃれなイメージが大事。市内の各場所で、気軽に貸出、返却ができるような環境づくりなどの意見が出されました。



グループ②

娯楽としての読書、情報源としての読書があり、それぞれPR方法として、情報源では、新元号やオリンピックなどテーマ別に本を設置する。娯楽では、学生おすすめ本の展示、相談できるコンシェルジュを配置する。インターネットとの差別化として、テーマに沿って広がりのある企画展示を行う。インフラでは、バス停を増やす、まちかどブックコーナーの充実などの意見が出されました。



グループ③

図書館へ行くきっかけづくりが必要であり、小学生では、学校司書が間に入ることで、子育て中の親が子どもと一緒に読書を始めるなど。インターネットの情報では足りない部分を調べるために、きっかけとして紙媒体で重要な資料がある図書館に行く。習慣づけとしては、朝読や家での読み聞かせなどが重要であるなどの意見が出されました。



グループ④

情報発信として、SNSの利用、本の感想を書いたポップを作成する。多世代への場所提供として、送迎バス・乗り合いバスの運行、駐車場の整備、遊具などで遊べるキッズスペースの設置、まちかどブックコーナーなどの充実により地域住民の読書への関心に繋げる。図書館では、各年代のニーズにあった、宇部市独自のイベントの開催が必要であるなどの意見が出されました。



グループ⑤

分散型として、まちかどブックコーナーの充実、読書感想文の書き方講座などを学校や図書館で支援する。環境の工夫として、子どもの読書スペースの整備、研修の実施で司書のスキルアップを図る、本を読まない人の意見を聞く機会を設けることも必要である。これまでの様々な意見を図書館などへどのように反映していくのか集約して欲しいとの意見などが出されました。



グループ⑥

宇部市の歴史文化の保存継承として、プラネタリウム移設、もも色レンガの保存、郷土出身作家の紹介。IT弱者への援助として、ふれあいセンターに窓口を設置し貸出を行う。人材育成として、専門職の配置、図書館を中心に、学校司書と図書館司書との連携と充実への支援。また、トキスマでの図書の貸出、図書館利用者カードを母子手帳と一緒に発行できないかなどの意見が出されました。

